



ソフトウェア開発・運用・保守を改善するネットワーク基盤 ソフトウェア処理を簡略化するネットワーク計算基盤

技術分野分類 1103 : 情報ネットワーク

技術キーワード : (1)ネットワークアーキテクチャ

産業分類 7112 : 工学研究所

	概要	ソフトウェア処理には関数呼び出し、繰り返し、エラー処理が多く含まれている。これらの処理の多くをネットワーク部分に任せることでソフトウェア開発の軽減や計算資源の有効利用や障害発生時の処理継続を行える。
内容	従来技術・競合技術との比較(優位性)	計算資源を有効利用には仮想環境技術が広く用いられているが、総和や整列、関数呼び出し処理の制御は1つのホスト内で実行されるため、計算資源の有効利用という観点では不十分である。 本技術では、ネットワーク上の各ホストに処理の制御を分散することで、ホストの負荷分散および耐サーバ障害の向上を実現しつつ、ネットワーク上の計算資源を有効利用する。
	本技術の有用性	作成するプログラムの処理が簡易化される。ネットワーク側にあるサーバ群の資源の有効利用が図れる。一部のサーバで障害が発生しても処理継続できる。
関連情報 (図・表・写真等)	従来 <pre>a=sum(1..100) sum(){ 計算の処理 繰り返し } エラーの処理(){ }</pre>	本技術 <p>ネットワークとサーバ群から成る計算基盤 状況により増減 必要により繰り返し</p>
適用可能製品	<ul style="list-style-type: none"> データ数が多く同一の処理を繰り返すアプリケーションプログラム プログラム開発（データ集計・検索処理プログラムの構造簡略化） 	
技術シーズ保有者	氏名	黒瀬 浩（くろせ ひろし） 金沢工業大学 情報技術研究所 准教授
技術シーズ	窓口	金沢工業大学 産学連携機構事務局 研究支援部
	TEL/FAX	076-248-9504 / 076-248-9508
照会先	e-mail	kitor@neptune.kanazawa-it.ac.jp

■知的財産 無

■試作品状況 無 提示可 提供可

作成日 2015年10月20日